

# 令和7年度仮置場設置訓練報告

令和8年1月28日  
環境省東北地方環境事務所

## 令和7年度仮置場設置訓練の概要

- 地震被害による孤立や、頻発する水害などの大規模災害に備え、災害廃棄物処理計画等に基づいて災害時に相互協力と広域的な連携が図れるよう平時からの国・県・市町村による調整・協議が求められている。
- その一環として、東北ブロックにおいて、水害を想定した仮置場設置訓練を開催した。

項目	内容
開催場所	岩手県盛岡市内
主催	環境省東北地方環境事務所 岩手県
開催時期・時間	令和7年11月7日(金) 10:30～16:00
開催形式	対面形式
対象・参加人数	東北ブロック内市町村・一部事務組合の廃棄物担当職員 38人 関係団体 22人 県及び振興局職員 21人 オブザーバー 1人
ねらい	水害により発生する災害廃棄物処理のために、市町村が実施する仮置場の設置及び受入に関する訓練の実施を通じて、市町村及び県等の人材育成・災害対応力の強化を図る。

## 仮置場設置訓練プログラム

時間	内容
10:00 ~ 10:30	受付
10:30 ~ 10:35 (5分)	開会挨拶
10:35 ~ 11:00 (25分)	実施方法の説明
11:15 ~ 12:00 (45分)	仮置場の設置訓練
12:00 ~ 13:00 (60分)	～ 昼休憩 ～
13:00 ~ 14:40 (100分)	仮置場の運営訓練(4セット)
14:40 ~ 14:50 (10分)	解説
15:00 ~ 15:45 (45分)	全体の振り返り・発表
15:45 ~ 16:00 (15分)	講評
16:00	閉会挨拶

：屋内   ：屋外

2

## 仮置場レイアウト

	本訓練における設定、留意事項
仮置場の種別	<ul style="list-style-type: none"> <li>水害で被災した住民が片付けごみを自ら搬入する仮置場</li> <li>発災翌日には、自治体が仮置場を設置</li> <li>事業者による廃棄物の搬入や大型の重機の稼働や選別は行わない設定とする</li> </ul>
動線	<ul style="list-style-type: none"> <li>仮置場の出入口は1箇所</li> <li>車両の混乱を防ぐために動線は一方通行</li> <li>仮置場内で車両が旋回できる幅、ルートを確認</li> <li>一方通行の方向は、入口の位置や仮置場敷地形状を考慮し決定</li> </ul>
敷地の使い方	<ul style="list-style-type: none"> <li>廃棄物種類別に集積場所を決定</li> <li>車両が入れない箇所は、なるべく置場を設置しない</li> <li>廃棄物種別毎に表示板を設置</li> </ul>



3

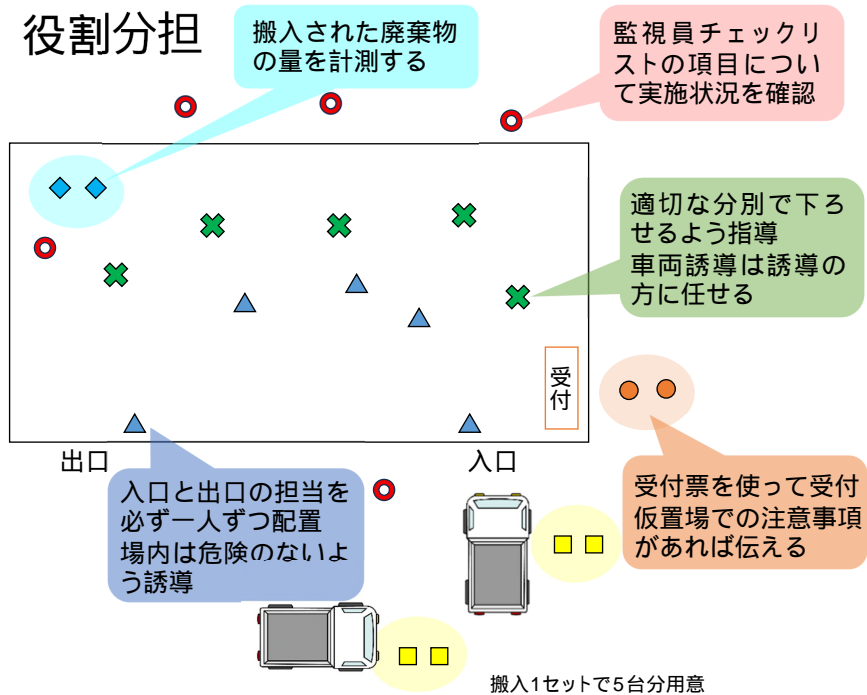
## 仮置場の設置訓練



4

## 仮置場の運営訓練 役割分担

役割	対応
受付係	搬入者の受付
計測係	搬入された廃棄物の計測
誘導係	出入口及び場内の車両誘導
受入補助係	荷下ろし補助、分別誘導
搬入者	事務局が運転する搬入車両に追従し、災害廃棄物を搬入
みまわり隊	仮置場運営状況の確認



5



## 仮置場の運営訓練



6

## 仮置場の運営訓練

### ・ドローン等を使用した廃棄物量計測の実演：

廃棄物量の計測手法として、ドローンによる3Dモデル作成による計測を実演した。  
また、モバイル端末による簡易計測を参加者に体験していただいた。

【ドローンを用いた計測のイメージ】

①ドローンを用地対象とするものを上空から撮影し、地形や建物等の計測対象の画像データを取得	<p>ドローン撮影</p>
②撮影した画像を解析し、各点の位置情報(X・Y・Z座標)をもとに点群データを生成	<p>3Dモデル化</p>
③点群データをもとに、地形や建物等の計測対象の3Dモデルを構築 これにより、対象とするものを立体的に再現	<p>対象物の計測</p>
④生成した3Dモデルを利用して、建物や構造物等の計測対象の寸法・高さ・面積等を計測	

注：②～④の処理をするためには、専用ソフトウェアが必要です。



7

## 振り返り

### • みまわり隊からの主なフィードバック

- (受付) 丁寧な説明や、災害ごみかどうかの確認ができていた。  
場内の注意事項について一部説明漏れがあった。
- (誘導) 挨拶や声掛けがされていたのがよかった。  
車両が荷下ろし場所を通り過ぎたこともあり、難しいと感じた。
- (受付補助) ベッド類やマットレスがないかの確認ができていた。  
廃棄物の種類について、受付からの連絡がうまくいかず苦勞されていた。



### • 振り返り(各グループ)主な感想、気づき等

- (設置) 設置の順番で荷下ろしのことまで考えて並べるといい。
- (受付) 想定していないものを持ち込まれて焦ってしまった。 受入品目をある程度決めておく。
- (計測) モバイル端末の操作に慣れておく必要がある。
- (誘導) 全体を確認する必要があるので、トランシーバーは必ず必要。
- (受付補助) 受付での対応、分別の指示を受入補助者が確認できる受付表が必要。